

令和 5 年 6 月 10 日現在

機関番号：32623

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2015～2022

課題番号：15K02729

研究課題名（和文）英語母語話者の物語コーパスに基づいた慣用句を中心とした絵本教材の作成と提供

研究課題名（英文）Producing English Picture Stories for Japanese Learners of English Based on Often Used Set Phrase Corpus Compiled from English Children's Stories

研究代表者

金子 朝子（Kaneko, Tomoko）

昭和女子大学・文学研究科・教授

研究者番号：10138505

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,400,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、申請者が平成26年度までに科学研究費を受けて作成した「英語物語コーパス」に基づいて、英語による絵本物語の展開の特徴を調査し、収集した物語で多く用いられているレキシカルフレーズを参考にして、日本の小学校に於ける英語指導で活用できる英語の物語とその学習ステップとなる指導内容や方法を公開したものである。

まとめとして、作成した英語物語を教材としてアクション・リサーチを行い、絵本を用いての英語指導に於いても、学習者からより多くの英語の応答を得る鍵となるのは、指導者による英語の質問と教師が質問後に学習者に十分なwait time（待ち時間）を与えることが必要であることを示した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

小学校に於ける教科としての英語教育は日本ではまだ始まったばかりであり、指導の成果をあげるには、どのような内容を、どの言語で、どのように指導することが効果的なのかについての研究はまだ不十分と言える。教科としての指導で用いるテキストの内容や指導法については、更に豊富な研究が望まれる。

本研究の成果は、英語母語話者から収集した英語絵本物語コーパスを基礎データとして作成した英語絵本を使用した最終リサーチで、初級学習者が自らの気持ちや考えを英語で伝える力を育てるには、教師と学習者間の英語によるやり取りと学習者の回答を待つ十分な時間が必要であることを示した点にあり、これからの初級英語教育の示唆となろう。

研究成果の概要（英文）：This study first investigated some distinctive features in the development of stories of English picture books as well as the lexical phrases used in those books. Then based on those data, the researcher created English stories for lower-level elementary school students in Japan.

By using one of the stories created by the author, action research was administered. The results show that teachers' use of English in the classroom and offering learners enough wait time before they speak out is essential, especially for lower-level elementary school learners.

研究分野：英語教育 第二言語習得

キーワード：英語絵本 教材としての英語絵本の作成 英語絵本教材の指導効果 指導でのwait timeの重要性

### 1. 研究開始当初の背景

(1) 本研究は、科学研究費助成事業(基礎研究)として平成 21(2009)年まで継続して行った「日本人英語学習者のコーパス作成」に端を発している。

(2) 平成 22(2010)年からは、「英語話者の物語コーパス作成とレキシカルフレーズ中心のリスニング教材の提供」をテーマにデータの収集をスタートした。さらに平成 27(2015)年からは、2020 年からの小学校英語教科化に備えて、リスニングに加えて、学習者が聞いた内容をより深く理解できる教材として絵本をどのように活用するかをテーマに、「英語母語話者の物語コーパスに基づいた慣用句を中心とした絵本教材の作成と提供」に関する研究を行うこととなった。

### 2. 研究の目的

(1) 第二言語習得研究で示された、指導者の発話と学習者の応答についての様々な研究と、英語を母語とする国々の英語指導で用いられる絵本のデータを基に、絵本を用いた様々な英語指導法を検討する。

(2) 日本における初級の英語指導に役立つ、様々な英語の絵本を扱っている日本や海外の書店を紹介すると共に、指導法についても英語を母語とする児童への指導を参考に、日本での絵本を用いた英語指導の効果について検討する。

(3) 指導者の英語と日本語の発問に対応する児童の英語と日本語の応答の頻度を比較対照することで、絵本を用いた英語指導をより効果的に行うための方策を検討する。

### 3. 研究の方法

(1) 平成 26(2015)年からの研究では、収集済の「英語物語コーパス」に収められた物語の語彙使用の特徴と物語の展開を分析した。

(2) 上記の結果を活かして、使用頻度の高い慣用句を用いた初級レベルの英語指導で利用できる物語のサンプルを数編作成した。

(3) さらに、それらの絵本の指導に於いて、指導者の発問のタイプによって、児童の英語による発話量の違いについてアクション・リサーチ法を用いて観察し、絵本を用いた指導に於ける指導者の留意点を調査した。

### 4. 研究成果

(1) 昔話の代表である、『三匹の子豚(The Three Little Pigs)』や『赤ずきん(Little Red Riding Hood)』に似た物語はヨーロッパばかりでなく、アジア、アフリカに存在し、すでに 1 世紀ごろから語られていた『オオカミと 7 匹の子山羊』を起源としていると考えられる。英語母語話者が語ったこの二つの物語のコーパス(研究者作成)の Type/Token Ratio (述べ語数÷異なり語数)を比較すると、『赤ずきん』が 16.77 で『三匹の子豚』が 13.29 であり、2 つの物語の難易度は『赤ずきん』の方が少し高いことが示された。また、N-gram による分析では、『三匹の子豚』にも『赤ずきん』にも、聞き手の記憶に残るようなフレーズが繰り返し用いられていることが明らかとなった。加えて、“Once upon a time、～.”のような決まり文句の使用が多く、昔話を題材とした絵本は、学習教材としても適切であると言える。

(2) 『英語話者の物語コーパス』から抽出したレキシカルフレーズを参考にして作成した物語数編を WEB に掲載し、英語指導に役立てるためのサイトを掲載した。(図 1 参照)

(3) また、同資料を参考に、擬声音や擬態音の指導を中心とした英語の絵本(Ton-chan's Adventure)を出版し、それを用いて英語指導を実施したところ、児童は指導者の日本語発話によりも英語発話に対して英語での応答が多く、また、指導者が自身の発問後に児童からの応答を待つ時間(wait time)を充分に取ることが効果的であることが示された。(図 2 参照)

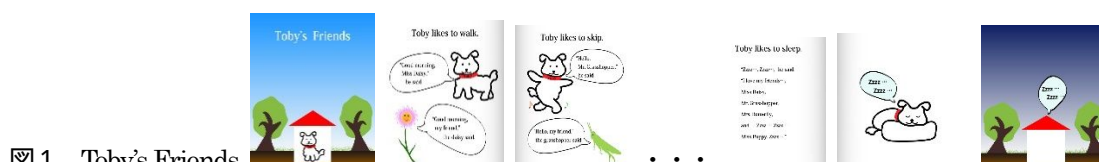


図 1 . Toby's Friends

## 指導手順

1. *Toby's Friends* を聞いてみよう
2. *Toby's Friends* を利用した活動

## 基礎

絵本を見る：絵本の絵と Total Physical Response を利用して語彙を学ぶ。

例：TPR で新出語彙の指導

物語を読み聞かせる：絵本を繰り返し読み聞かせ時には教師がアドリブを入れる。

例：教師の読み聞かせ

1 回目：少しゆっくりと大げさな抑揚をつけて、新出語彙をできるだけ明確に発音しながら読み聞かせる。\_\_ の TPR に続いて行う場合は、子どもが物語と一緒に動作をしても良い。2 回目以降：学習者の興味を引くようなページの開き方（たとえば、少しずつページの絵を見せながら、学習者に次の話の展開を想像させる）などを工夫しながら、数回繰り返して読み聞かせ、最終的には普通の速さで読んで聞かせる。

ジャズ・チャンツ：子どもたちに絵本に出てくる「～が好き」のフレーズ (like(s) to + V) をジャズ・チャンツの手法でリズムをとって繰り返し、練習する。次に物語をひとつのセクションごとに伴奏に合わせて語って聞かせ、子どもたちと一緒に歌ってみる。できれば Section 1 から 5 までをジャズ・チャンツの伴奏にあわせて一緒に歌ってみる。

## 発展

歌：この物語を歌の伴奏にあわせて歌い、同上のフレーズを練習する。初めは教師も参加して、目標としているフレーズのみを学習者が歌うが、定着後はその他の部分も歌ってみる。

子供の物語への一部参加：Toby や Toby の友達の挨拶の部分を使ってみる。基本的な挨拶の部分のみの参加。

物語に登場する Toby になっての物語への一部参加：Toby が好きなこと (I like to walk, I like to skip 等) を子どもに言ってもらおう。

ロール・プレイ：物語に登場する Toby や Toby の友達の対話を子ども達が行う。展開 2 の劇のための導入ともなる。

## 展開 1 マイ・ストーリーの作成

子どもに好きな犬の名前をつけてもらい、その名前を使って教師が絵本を読み聞かせる。

犬が他にどんなことが好きかを想像してもらい犬の活動を増やすことで、子供たちと一緒に物語を膨らませる。

子どもに自分の好きな名前をつけた犬の話をも 1 セクションずつしてもらおう。

子どもに「～が好き」のフレーズ (like(s) to + V) を使い自分のことを話してもらおう。Do you like to ~? の疑問文とその答え方も練習する。

## 展開 2 劇を演じる

教師、または、子どもがナレーターを行い、その他の配役を子どもたちが行う。

子ども達の自作の物語に基づいて劇とすれば、同様のプロットでも少しずつ違った内容

図 2 . 指導者の英語の質問と wait time の増加による学習者の英語発話量の増加

## Learners' English Replies Improvement with More English Questions and Wait Time

Questions	Replies	Reply ratio, S.1	Reply ratio, S.2
English + Japanese	English	21.0%	39.3%
	Japanese	32.8%	23.2%
	E.+J.	53.8%	62.5%
	No Reply	46.2%	37.5%
English	English	25.0%	48.4%
	Japanese	6.3%	25.8%
	E. + J.	31.3%	74.2%
	No Reply	68.8%	25.8%
Japanese	English	20.4%	35.8%
	Japanese	36.9%	22.2%
	E. + J.	57.3%	58.0%
	No Reply	42.7%	42.0%

## Research Questions and Answers

1. Did the T's more frequent English Questions contribute to more English replies from the learners?

YES

2. Did longer wait times contribute to eliciting more English Rs from the learners?

YES

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計8件（うち査読付論文 7件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 7件）

1. 著者名 金子朝子	4. 巻 970
2. 論文標題 指導者の発問と児童の応答の関係 - 小学校低学年の児童に絵本で英語を指導して	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 学苑（昭和女子大学紀要）	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 金子朝子	4. 巻 966
2. 論文標題 小学校「外国語活動」及び「外国語」での使用語彙と中学校「外国語」の連携	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 学苑（昭和女子大学紀要）	6. 最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 Tomoko Kaneko	4. 巻 954
2. 論文標題 Picture Stories in Japanese Elementary School English Classrooms (4) A Comparison of the Use of Picture Stories in Japan and Three English Speaking Countries	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 学苑（昭和女子大学紀要）	6. 最初と最後の頁 2-14
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 Tomoko Kaneko	4. 巻 942
2. 論文標題 Picture Stories in Japanese Elementary School English Classrooms (3) A Comparison of the Effect of Teo Types of After-reading Activities on the Quantity and Qyality of Learner Oral Outcomes	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 学苑（昭和女子大学紀要）	6. 最初と最後の頁 2-11
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Tomoko Kaneko	4. 巻 930
2. 論文標題 Picture Stories in Japanese Elementary School English Classrooms (2) Role of Narrative Picture Stories in the New Course Guidelines	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 学苑 (昭和女子大学紀要)	6. 最初と最後の頁 2-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tomoko Kaneko	4. 巻 918
2. 論文標題 Picture Stories in Japanese Elementary School English Classrooms (1) An Overview	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 学苑 (昭和女子大学紀要)	6. 最初と最後の頁 2-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 金子朝子	4. 巻 906
2. 論文標題 英語母語話者が語る物語と英語教育での活用 (3) 物語の特徴とマイ・ストーリーの作成	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 学苑 (昭和女子大学)	6. 最初と最後の頁 2-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 金子朝子 他4名	4. 巻 1
2. 論文標題 初級英語教材に用いられる語彙・単語連鎖に関する基礎調査	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 昭和女子大学現代教育研究所2015年度紀要	6. 最初と最後の頁 61-70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計5件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 3件）

1. 発表者名 Tomoko Kaneko
2. 発表標題 The Importance of Wait Time in Teaching EFL to Children
3. 学会等名 The 9th IAFOR International Conference on Education in Hawaii (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 金子朝子
2. 発表標題 指導者の発問と児童の応答の関係
3. 学会等名 JASTEC
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 金子朝子
2. 発表標題 小学校「外国語活動・外国語」指導書の英語語彙と動詞の～ing形について
3. 学会等名 JASTEC九州・沖縄支部大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Tomoko Kaneko
2. 発表標題 Task-based After-Reading Activities for Children
3. 学会等名 TESOL Ontario (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tomoko Kaneko
2. 発表標題 Response of Chinese and Japanese English Learners in Interview Questions
3. 学会等名 TESOL Regional Conference in Singapore (国際学会)
4. 発表年 2015年

〔図書〕 計7件

1. 著者名 Shawn Loewen、佐野 富士子、齋藤 英敏、長崎 睦子、小林 めぐみ、金子 朝子、石塚 美佳、神田 みなみ	4. 発行年 2022年
2. 出版社 開拓社	5. 総ページ数 352
3. 書名 学びの場での第二言語習得論	

1. 著者名 かねこともこ	4. 発行年 2021年
2. 出版社 文芸社	5. 総ページ数 23
3. 書名 トンちゃんの冒険 Ton-chan's Adventure	

1. 著者名 松浦伸和、金子朝子編著他13名	4. 発行年 2017年
2. 出版社 明治図書	5. 総ページ数 205
3. 書名 中学校新学習指導要領の展開外国語	

1. 著者名 大杉昭映, 金子朝子他11名	4. 発行年 2017年
2. 出版社 明治図書	5. 総ページ数 272
3. 書名 平成29年版中学校学習指導要領全文と改訂のピンポイント解説	

1. 著者名 金子朝子、飯牟禮光里、大橋由紀子、片桐徳昭、加藤あや美、國分有穂、小谷尚子、高味み鈴、田原澄子、恒靖真佐、中島康雄、榊原克己、Selina England、Steven Bohme	4. 発行年 2016年
2. 出版社 昭和女子大学現代教育研究所	5. 総ページ数 4
3. 書名 Mini-Activities in Non-Major English Classes	

1. 著者名 金子朝子、高味み鈴、國分有穂	4. 発行年 2016年
2. 出版社 昭和女子大学現代教育研究所	5. 総ページ数 19
3. 書名 これからの小学校英語教育法	

1. 著者名 金子朝子 他15名	4. 発行年 2015年
2. 出版社 昭和女子大学現代教育研究所	5. 総ページ数 7
3. 書名 Mini-Activities in University Non-Major English Classes	

〔産業財産権〕



〔その他〕

子供たちに絵本で英語を学ぶ楽しみを！  
<https://kodomo-ohanashi.com/>  
絵本で英語を学ぶ楽しみを！  
<http://kodomo-ohanashi.com/>  
絵本を通して「学ぶこと」の楽しみを知ることが出来るサイト  
<http://swu.ac.jp/aso/corpus/>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------